

令和6年4月8日

令和6年度1学期 始業式 挨拶

(以下は1学期始業式で在校生に向けて話した講話の抜粋です。)

本日は「日常」ということについてお話しします。

本校では、文芸部とコーラス部が夏の第48回全国高等学校総合文化祭、いわゆる総文祭に参加が決まっていると聞いています。また、皆さんの中で運動部に所属している人たちは、こちらは高校総体、いわゆるインターハイと呼ばれる全国に向けた予選大会を前にしたり、すでに始まったりしている時期かと思えます。大舞台や試合が迫れば、練習にも力が入るし、やる気もでてきますね。さて、前回の大会や予選が終わったころ、皆さんの気持ちはどうでしたか？来年こそ、もっといい結果を出したい、力を出し切りたい、次こそ、よりよい記録を、一つの上の大会に勝ち上がろう、と頑張ってきた人たちはここまでいい1年を送ってきたと思えます。いよいよ大会だ、という時に慌てて準備してもそう簡単には結果はついてこないことは冷静に考えれば明白です。「日常」の積み重ねこそが最大の武器、「練習は裏切らない」という言葉を胸に大舞台やシーズンに臨んでほしいと思えます。これは、勉強についても同様です。大学入学共通テストのうち、基礎科目の内容は高校2年までの学習範囲で作られています。日常的に取り組んでいけば、決して無理のない受験勉強のスタートが切れるはずです。部活で学んだことを勉強に活かす、勉強で経験したことを部活でも試す、私たちはいつでも学び続ける必要があります。そんな意識をもった1年にしてほしいと願っています。大きな大会も試合も、入学試験も私たちの今の「日常」とつながっています。机の前でもグラウンドでも、「日常」とつながった「学び」を近くにおいて、力を発揮できるようがんばっていきましょう。

明日は237名の新入生が皆さんの背中を追って、本校に入学してきます。新学期、絶好のスタートを切ってください。